



わた なべ てる かず
渡 辺 晃 一



つし しみん かい
津市民の会

中川原橋の工事状況と橋梁周辺の河川整備は

問 中川原橋は一志地域と久居地域西部を結ぶ重要な橋であり、地元は早期完成を望んでいるが、工事の進捗状況はどうか。

さらに、中川原および高野地区より要望、陳情が出ている河川の流下能力向上を図るため適切な河川維持管理が必要であり、橋梁の上下流部堆積土除去、立木伐採をし、さらなる安心・安全なまちづくりをお願いしたいが、本年度の計画はどうか。

県に一日も早い完成と国に適切な維持管理を

答 県事業である中川原橋の工事進捗状況は、令和元年度末で橋脚5基のうち4基まで完成し、残る1基は、令和2年7月中に完成予定である。本年度、雲出川左岸および右岸の橋台2基を施工し、橋梁上部工へと進める予定である。当該路線は、地域住民の生活道路だけでなく、地域産業を支える重要路線であり、引き続き、一日も早い完成を要望していく。

また、堆積土砂や立木伐採は、国が水位低下対策として、上下流のバランスを考慮しながら実施している。本年度は、同橋の下流部の樹木伐採の着手と、引き続き、河川パトロールも行い、適切な維持管理に努めていただく。

●その他の質疑・質問●

○予想される南海トラフ地震対策と避難所開設時の新型コロナウイルス感染症対策等について
○予算約17億円投資の津市ICT（情報通信技術）教育の今後について

- 約6億円でのLAN整備は
- 約11億円で児童・生徒用2万458台、教師用769台の本年度タブレット端末貸与整備計画は
- 公正な機種選定会議は



▲樹木が繁茂し、土が堆積している中川原橋下流付近



おか むら たけし
岡 村 武



し せい かい
至 誠 会

20人に1人が障がい児というのは異常では

問 津市の児童・生徒約2万人のうち約1,000人が特別支援学級に在籍している。

その内訳を見てみると、自閉症、情緒障がいなどが557人と大半を占めており、20人に1人が障がい児であるという事実は、異常としか思えない。

自閉症などの発達障がいの原因や対策について、研究や調査をすべきと思うが、どのように考えているか。

子どもの自立や社会参加に向けた教育が重要

答 発達障がいの原因については、遺伝や、低体重児の生存率の増加、生活様式の変化など諸説あり、まだ分かっていない。

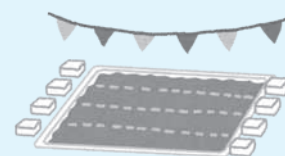
以前の障がい児学級には、主に知的障がい児が在籍していたが、現在の特別支援学級には、自閉症などの発達障がい児も在籍しており、近年は、特別支援教育に関する理解の浸透や、評価・期待の高まりを受けて、在籍数が増加している。

特別支援学級の在籍数の増加は、必ずしも間違っているとは言えないと捉えており、子どもたち一人一人の教育的ニーズに合った、自立や社会参加に向けた教育がしっかりとできることが重要と考えている。

●その他の質疑・質問●

○新型コロナウイルス感染症を踏まえた久居・香良洲のプール開催について
○特別支援学級の教育環境について

- 正規の教諭と臨時講師の間で、待遇に格差がありすぎるのでは



▲今夏の久居・香良洲のプールの開催は見合わせるべき